

平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

全国学力・学習状況調査は、教育委員会や学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的としています。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部ではありますが、本校の児童の実態を客観的に把握するのに大切な資料となります。子どもたちの学力向上を目指して、十分に検討し、指導の工夫・改善に一層取り組んで参ります。

○概要 実施日：4月17日 対象児童：6年生

【教科に関する調査】国語A・B、算数A・B、理科

(A：主として「知識」に関する問題、B：主として「活用」に関する問題)

【児童質問紙調査】児童の学習意欲や方法、学習環境や生活の諸側面等に関する調査

国語

主語と述語の関係や慣用句、漢字の読み書きなど、数年取り組んでいる「ことばの学習」の成果が出ています。「話すこと・聞くこと」の力もついてきています。特に「聞く」力は、話し手の意図をとらえながら聞けるようになってきました。

しかし、「書くこと」においては、課題が見られました。文章全体の構成を考え、工夫した表現を取り入れたり、その表現の効果を捉えることができていませんでした。目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること、目的に応じて自分の考えを明確にしながら読むことに課題がありました。

⇒「書く力」をつけるために、国語の授業においては、文章構成を捉えてから読み進めていくようにします。また、文字数の制限やキーワードを取り入れて書くなどの条件をつけた作文指導を取り入れていきます。朝会の話の内容をポイントをしばって、短文で書く活動を取り入れ、力をつけていきます。

算数

「図形」については、算数の時間に使った言葉で説明したり、性質をわかりやすく表現したりすることができていました。活動を取り入れた授業の成果が見られました。

しかし、単位量当たりの大きさを求める問題や角の大きさを測定する問題に課題が見られました。また、問題の意図を把握できず、問題から必要な情報を選んで解答できていないものもありました。

⇒問題を読んだら、その状況をイメージ化させるようにします。ノートやプリントに、図や式や言葉などを書き込み、自分の考えを明確にさせます。また、問題の解きなおしをして確かめをします。他にも、いくつかの条件がある問題に慣れ親しませます。図形の問題なら、形と個数を条件にして解いていきます。問題を出すときに、式だけで答えるのではなく、図を使って説明させたり、言葉で説明させたりします。

理科

「自然事象への関心・意欲・態度」においては、とても高く、自然に恵まれた地域性が影響していると思われます。「自然事象についての知識・理解」についても、力をつけてきています。

しかし、調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析ができていませんでした。また、実験結果からどのように改善していけばよいのかを考えることに課題が見られました。

⇒実験結果の見通しを伴った解決の方向性を構想できるようにするために、目的意識を持った活動を取り入れます。既習の内容や生活経験と関係付けて、根拠のある予想や仮説を設定し、図などで表現し、それをもとに話し合う学習活動をしていきます。

児童質問紙の結果から（◎特に良い、○良い、△課題、⇒工夫・方策）

《学習・読書・生活習慣》	前山	全国
◎普段、1日当たり1時間以上勉強する	83.3	66.2
△家で自分で計画を立てて勉強をしている	50	67.6
△週末に、テレビ・ビデオ等見たり、ゲーム・インターネットをしたりしている	91.7	82
◎週末の過ごし方で、家で勉強や読書をしている	83.3	58.1
○普段、家で10分以上読書をする	66.7	66.2
◎毎朝、朝食を食べている	100	94.5
△毎日、同じぐらいの時刻に寝ている	41.7	77
△毎日、同じぐらいの時刻に起きている	75	88.8
△家の人と学校での出来事について話をする	66.6	80.5

⇒宿題に限り、家庭学習の習慣は身につけているものの、自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいるとは言えず、自主学習の充実が課題としてあげられます。また、就寝・起床時間が決まっておらず、生活習慣を定着させる必要があります。メディアに関わる時間については、改善の必要があり、本校の取り組みである「生活点検シート」を活用しながら、引き続き指導していきます。

今後も学校と家庭が連携し、望ましい生活習慣を自ら作ろうとする子どもたちに育てていきます。

《学び合い》	前山	全国
○資料や文章、話の組み立てを工夫して考えを発表できている	58.3	61
○話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	83.3	77.7
○課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる	75	76.7

⇒話し合うことで、さらに考えを深め合ったり、新しい考えに気づいたりすることができています。しかし、クラス全体の間では自分から進んで発表する姿があまり見られないのが課題です。今後は、課題解決に向けて自ら考え、進んで取り組むような授業創造を行い、主体性の育成を図っていきます。

《自尊感情》	前山	全国
◎将来の夢や目標を持っている	91.7	85.1
△自分には、よいところがある	75	84

⇒夢や目標を持っている子が多く大変喜ばしいことです。しかし自尊感情が低いのが課題です。多くの成功・失敗体験をさせ、子どもにかけられる言葉の質の向上にも努めることにより、自分の良さをそのままに認められる自尊感情の向上や、失敗を恐れず物事に挑戦できる子ども達に育てられるように努めます。

《規範意識・仲間意識》	前山	全国
△学校のきまりを守っている	75	89.5
◎人の役に立つ人間になりたいと思う	100	95.2
◎地域の行事に参加している	91.7	62.7
◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	100	85.9

⇒地域の行事に参加しているだけでなく、防災学習などを通して、地域に対する関心度は高くなっています。また、いじめを許さない心を全員がもつことができています。今後は、道徳の授業を中心に「学校朝会」での月ごとの生活目標の啓発活動や委員会活動の縦割り班活動を充実させ、規範意識や仲間意識の向上を図っていきます。

調査結果を受けて、2学期以降の改善策を検討し、全職員で共通理解をして取り組んでいます。学校生活全般をとおして、子ども同士のつながりを意図的に作り、学び合いを大切にした授業づくりをめざしていきます。